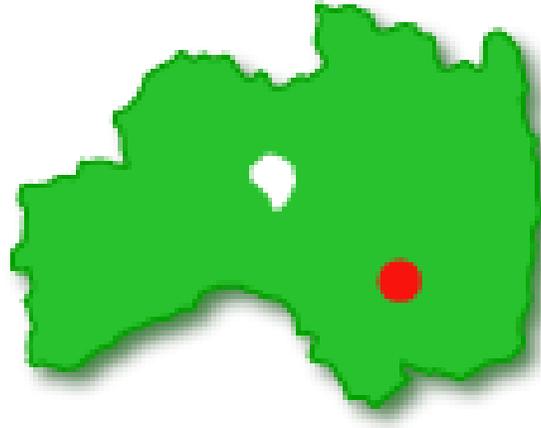


石川地区自治協議会 活動報告

石川町石川地区

石川町は福島県の中通り南部、あぶくま高原の西側に位置している。
人口約14,000人。



石川地区は石川町の中央部から西部に位置している。

人口 約4900人
高齢化率 37.9% (令和6年11月現在)

・市街地を形成する中心部と、丘陵地帯の西部から構成され、公共施設、学校、金融機関等が立地している。



自治協議会とは

- 自治協議会とは、地域の住民やさまざまな団体がまちづくりについて話し合い、課題解決のために協力しながら活動する、まちづくりの新しいかたちです。それぞれの団体が解散しひとつの団体になるわけではありません。
- 自治協議会はおおむね地区（旧町村）単位を活動エリアとして設立されます。そのエリアであればだれでも活動に参加できます。

（自治協議会設立のための説明会資料より）

石川地区自治協議会設立までの経緯

2014年（平成26） 石川町から「地域自治協議会」設立の計画が示される。

2016年（平成28） 9月 沢田地区自治協議会 設立

2017年（平成29） 7月 中谷地区自治協議会 設立

2018年（平成30） 3月 山橋地区自治協議会 設立

4月 母畑地区自治協議会 設立

2019年（平成31） 1月 野木沢地区自治協議会 設立

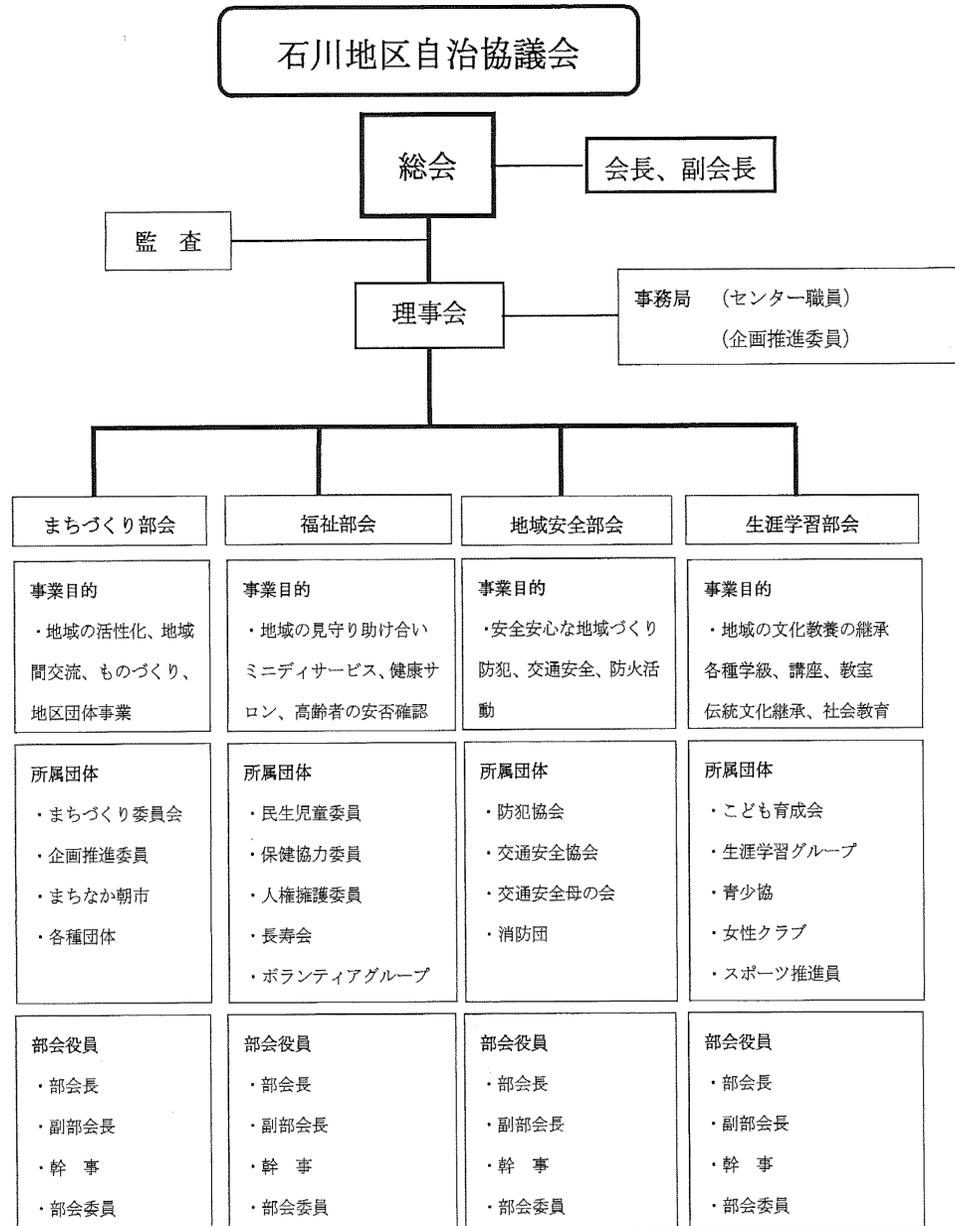
2021年（令和3） 6月 「石川地区自治協議会」設立に向けての動きが本格化する。

説明会・意見交換会が5回開かれる

12月 第1回設立準備委員会

20回の会合、2回の先進地視察（山形県川西町小松地区）

2023年（令和5） 12月20日 石川地区自治協議会設立総会



【部会】

- まちづくり部会
- 福祉部会（福祉部会に第2層生活支援コーディネーターを配置）
- 地域安全部会
- 生涯学習部会

【予算】

- 町からの自治活動交付金
- 県からの補助金

まちづくり部会

自治活動交付金
による活動

- 地域の環境保全・環境美化活動
- まちなか朝市の開催（5月～11月）



集落ネットワーク
圏形成事業に
よる活動

- サマーフェスタ開催
（7月27日）

【目的】市街地の中心部にある
広場で縁日を開催し、地域の人
の交流とまちなか活性化に寄与
する。

【成果】小学生から大人まで多くの人が集まり、賑わいを作り出すことが出来た。

【反省点】初開催だったこともあり、全体的に準備が遅れた。なお、来年度は4部
会合同事業のイベントに統合する予定。



福祉部会

自治活動交付金による活動

- 地区内のサロンに参加し、サロンのメンバーとの交流を深める活動。
- 保健福祉課主催の講演会（支え合いの地域づくり講演会、アルツハイマーデー講演会）に参加の呼掛け。
- 「支え合いの地域づくり講演会」のフォローアップのための研修会開催。



集落ネットワーク圏形成事業による活動

- 買物支援事業の調査研究。

【経過と今後の予定】

当初は、今年度、移動販売の誘致をする計画だったが、買い物に不便を感じている人が何に不便を感じ、どのようにして欲しいのかを把握せずに実行しても十分な効果が期待できないと考えた。そのため、今年度は買物に不便を感じている人の要望を聞くことと（需要の把握）、買物支援事業の情報を集め、整理する作業（供給側の現状把握）を進めることとした。

但し、買物支援に対する本音の要望を聞くにはその人と人間関係をまず作る必要があり、地道で息の長い作業になると考えている。また、買物支援の先進事例は数多くあるので、今後は先進地視察等により、理解深めるようにしていきたい。

地域安全部会

自治活動交付金
による活動

- 石川町オータムフェスタで交通安全教室開催。
- 「オレオレ詐欺・振り込め詐欺などの防止のための講演会」開催

集落ネットワー
ク圏形成事業に
よる活動

- スタッフ用ベスト製作。



【目的】 イベント時にスタッフが一目で見分けが付きようにする。また、自治協議会の活動をイベント会場に来た方にアピールする。

【成果】 サマーフェスタ、盆踊り、オータムフェスタ等のイベントでスタッフ全員が着用した。スタッフが一目で分かったため、来場者には好評だった。

生涯学習部会

自治活動交付金
による活動

- 4つのレディース・スクールが学習会、移動研修などの活動を行う。
- レディース・スクールが石川町総合文化祭に参加（作品展示）
- 2つの高齢者のための学習会（寿大学）が学習会、健康増進のための活動、移動研修などの活動を行う。
- まちなか工房「つくっぺ」のものづくり事業

集落ネットワーク
圏形成事業に
よる活動

- e-スポーツのための機材（Wi-Fi設備、ゲーム機、ディスプレイ）などの整備。



【目的】 e-スポーツを知ってもらい、世代間の交流を促す。

【経過と今後の課題】

7月に機材を購入し、8月に学法石川高校のe-スポーツクラブの生徒に使い方をレクチャーしてもらった。今回揃えたソフトは高齢者向けのものだが、生涯学習部会員が熟達していないこともあり、利用者を広げるには至っていない。次年度は部会員がまず積極的に触れてみることにし、また、県立石川高校の生徒がe-スポーツに興味を示しているため、ソフトの幅を広げることも含め中長期的視点を持って検討していく必要がある。

4 部会合同事業

盆踊り復活事業

集落ネットワーク圏形成事業による活動

● 灯籠流し・盆踊り（8月17日）

【目的】

昔は町内で盆踊りを実施して多くの方が参加し、まちが活性化していたが、盆踊がなくなり静かになってしまった。そのため、自治協議会設立をきっかけに盆踊りを復活させ、再び町に活気を戻す。

また、河川工事が進む中で今の街並みが変わっていくため、河川では灯籠流しを行い、再び活気を戻す。

【内容】

- ① あさひ公園駐車場の中心に櫓を立て盆踊りを行った。
- ② 周囲には露店・キッチンカーが出店して賑わいを作った。
- ③ 当初の計画には無かったが、音響担当者が午後1時から会場で音楽を流し、午後4時から石川吹奏楽団による吹奏楽の演奏、盆踊の終盤にはサザンオールスターズの「盆ギリ恋歌」によるパフォーマンスが行われた。
- ④ 令和7年3月で廃校になる野木沢小学校の全校生（37名）と石川小学校の5・6年生がそれぞれの思いや夢を描いた灯籠200個を北須川に流した。



駐車場の中央に建てられた櫓とステージ（奥）



石川吹奏楽団



それぞれの想いや夢を
灯籠に書きました



川を流れていく灯籠





日本舞踊の会の皆さんが
お揃いの浴衣でリードしました



沢山の人が踊りの輪に参加しました



賑わう露店



若い人が中心になり、サザンオールスターズの『盆ギリ恋歌』をステージ上で踊り盛り上がりは最高潮に

4 部会合同事業の成果と課題

【成果】

- ① 小学生からご高齢の方まで、たくさんの方が集まり楽しんでいただくことができた。
- ② 特に、「盆ギリ恋歌（サザンオールスターズ）」には、20代・30代の若者が参加し、非常に盛り上がった。

【課題】

- ① 準備期間が短く、役員中心で準備を進めたため、様々な人の意見を吸い上げ、反映させることができなかった。

自治協議会設立から1年間の活動を振り返って

• 良かったところ

1. 夏の2つのイベント（サマーフェスタと灯籠流し・盆踊り）を開催したことにより、まちなかに賑わいを作る事ができた。
2. イベント開催で20～30代の若い人が参加するきっかけが作れた。
3. 福祉部会、地域安全部会では、地道な活動によって地域に入ってゆく方向性がはっきり打ち出され、継続的に活動することが出来た。

• 課題点

1. イベントに関しては準備期間が短く、役員がメインで準備を進めざるを得なくなり、準備段階で全体が参加する機会が少なかった。
2. まちづくり部会と生涯学習部会は活動のビジョンをはっきりさせることが出来ないまま、1年が過ぎてしまった。

来年度に向けて

- 組織体制を見直す。（特にまちづくり部会を3つのグループに分け、活動内容を明確にする）
- 現在ある「まちづくり計画」（約5年前のもの）を見直し、地域づくり計画の策定に取り掛かる。（目的、ビジョンの明確化）
- 石川地区自治協議会の4部会を通して住民とのコミュニケーションを取り住民のニーズに応える活動をして行く。（地区の皆さんに自治協議会を作った良かったと思っただけのような協議会にしていきたい）